



運転に不安を感じている人も、車に乗り続けたい人も、 今、自分が できること。

運転免許証返納・後付け安全運転支援装置設置への支援を行っています



近年、高齢者による運転事故が相次いでいます。市では、高齢者による交通事故をなくすことを目的に、昨年7月から運転免許証を自主返納した方と、後付け安全運転支援装置を設置した方への助成制度をスタートしています。昨年度、運転免許証自主返納支援を受けた方は550名、安全運転支援装置助成を受けた方は59名です。

今年度も引き続き助成を行いますので、少しでも不安のある方は、自主返納や装置の設置を検討してみてもはいかがでしょうか。



私にとっての心強い“お守り”

10年ほど前に、病院の駐車場で誤ってアクセルを踏んでしまったことがありました。当時は頭が真っ白になってしまい、どうやって車を止めたのかも覚えていません。幸い、事故にはなりませんでしたが、この経験が踏み間違い防止の装置が必要だと感じるようになったきっかけです。

私が乗っている車に踏み間違い防止の機能は付いていませんでしたが、後付けの装置があることを知り、付けることにしました。市から補助が出るので、実費での負担が少ないことも後押しとなりましたね。

設置する前と後で大きく変わったのは、気持ちに余裕を持って運転できるようになったところ。私にとってはお守りのようなものですね。もう少し運転を続けるつもりですが、一度も作動することなく免許の返納を迎えられるようにしたいです。



新井 澄子さん(中央)

車に乗らない不便より“乗らない安心”

60歳ごろから徐々に視力が悪くなり、自分で運転することが怖くなっていきました。70歳を迎えたタイミングで運転免許証を返納しようと考えていたところ、市から補助を受けられることを知り、2月に返納しました。

今まで車を運転して出掛けていたので、バスの乗り方もあまり分からず、返納したばかりのときは不便でした。しかし、この生活に慣れた今はその思いもなくなり、バスや電車などを使って出掛けています。車に乗らない不便よりも、車に乗らない安心の方が大きいかなと思っています。

高齢者の運転に同乗していて、危険を感じることもあります。一番怖いのが、本人に自覚がないことです。ちょっと早いかな?ぐらいで返納するのが一番いいのではないかと思いますね。



甲田 清美さん(富士見)

運転免許証を自主返納する方への支援

- 対象 70歳以上の方
- 支援内容 交通系ICカード(PASMO・Suicaなど)への入金費用を最大12,000円



後付け安全運転支援装置の設置費用の助成



- 対象 65歳以上の方
- 対象の装置
 - 障害物検知機能付きペダル踏み間違い急発進等抑制装置
 - ペダル踏み間違い急発進等抑制装置
 - ペダル踏み間違い防止装置
- 支援内容 設置費総額の1/2、最大25,000円



申請場所／交通防犯課(市役所2階)

必要書類、申請方法などの詳細は、同課窓口、各地区センター・入曽地域交流センターに設置のリーフレットかホームページをご覧ください。